



★SUGOI POINT★  
広々園庭がすごい

柳沢保育園自慢の広い園庭では、毎日たくさんの遊びが生まれる。そんな園庭に面しているテラスは特等席で、天気の良い日はひなたぼっこをしながら子どもたちとおしゃべりすることも1歳児クラスの子もたちも、お兄さんお姉さんの遊びを見て真似をし、成長していく。



「今日は何をする？」とクラスのみんなで相談。子どもたちで遊びを決めています。



ガラス張りの教室  
風通しの良い園の秘密とは

木造平屋建で木をふんだんに使ったこだわりの園舎。  
園舎に面した園庭には、元気いっぱい子どもの声が響き渡る。  
今回は社会福祉法人潮福社会の運営する、柳沢保育園で働く2人の先生に話を聞いた。



園庭にはブランコや滑り台などの遊具も!子どもの成長に合わせた遊具で遊びます。

「テラスが自慢です!」と話すのは、1歳児クラスの担任を務めるあすか先生。「他のクラスが外で活動をしている時、園自慢の園庭に面したテラス(片廊下)席で見学をしています。お兄さんお姉さんの姿はクラスみんなの憧れです」遊びを中心とする保育を実践している社会福祉法人潮福社会。室内遊びも子どもたちの発想を最大限に発揮できるように見守る。「ある日の室内遊びで私のエプロンの裾を広げ、そこにボールを集めて遊んでいました。『入れる』という動作を他でもできないかと考え、ビニール袋を渡してみました。すると、パラパラのように上げ下げしたりひっぱったりして遊び始めたんです。子どもの遊びに対する発想力の豊かさにびっくりし、感動しました」と子どもの新しい遊びの

「入職1年目、同じクラスを担当する先生が産休に入ることが決まり、とても不安でした。そんな私に先輩はアドバイスをまとめて書いたものを渡してくださいました」とあすか先生。いつも午睡中に相談に乗ってくれる先輩からのサポートが助かった。「いつも困ったときに助けてくれる先輩がアドバイスを具体的にまとめてくれたので、これからは頑張ろう!と気持ちを新たにすることができました。そして今はそれが私の宝物です」と続ける。当園自慢の先生たちのチームワーク

先輩からのプレゼント  
いつでも寄り添う優しさを

アイデアに驚かされたエピソードを教えてくださいました。「当園は子どもたちの『やりたい!』の気持ちを尊重する環境が整っています。子どもたちが選んだおもちゃや遊び方で一緒に『楽しい!』の瞬間を共有できることがやりがいです!」と笑顔が溢れる。



「やってみる!」の気持ちを大切に、一つでも多くの「できた!」を手助けしていきます。

常磐短期大学 卒業  
2020年4月 入職  
富澤 明澄香  
Tomizawa Asuka

小学生の頃からの「保育士になる」夢を叶えた。今は遊びの中で、子どもの成長に寄り添うことができる保育士の仕事に誇りを持つ。



子どもも大人も一緒に遊ぶを楽しむことができる環境

お話を聞いた先輩



子どもの笑顔が毎日溢れているところ!

常磐短期大学 卒業  
2020年4月 入職  
小竹 萌末  
Kotake Moemi

園内調理されるおいしい給食が大好き!子どもたちと毎日密接に関わるからこそ分かる保育の魅力に引き込まれている。



大好きな子どもたちと「ハイチーズ」

子どもの笑顔は周りも笑顔に！

力。クラス内はもちろん、クラスを越えて支え合う先生たち。あすか先生と同期入職のもえみ先生も先輩の気遣いに救われたそう。運動会でピアノ演奏を披露することになったもえみ先生。演奏する曲は聞きなれない曲だった。「譜面だけでは曲のイメージが湧かず困っていました。練習がはかどらないと悩んでいたら、先輩が自ら演奏したものを録音して見本の音を作ってくれて。その後の練習でもとにかくたくさん褒めながらアドバイスをくださったので、自信をもって当日に臨むことができました」同法人には子どもだけではなく先生に対しても明るく前向きに向き合う先生が集まる。

**自園調理で毎日楽しく食を身近に感じる**

そんな社会福祉法人潮福祉会では、イベントや給食を通して保育にも力を入れている。自園調理で季節ごとに旬の食材を使ったメニューの工夫がされており、子どもたちも食べながら旬の食材に触れることができる。「秋にはみんなで近くの畑にさつまいもを掘りに出掛けます。みんなで協力して掘ったさつまいもは、給食のスープやおやつなど毎回違うメニューになるので、子どもたちも楽しく食に触れることができます。この園では何に対しても子どもたちが楽しめるように考えられていて、私たちも楽しいんです！」ともえみ先生。子どもたちの笑顔を見ながら食べる給食は先生たちの楽し

みの一つ。食を通してこそ、心と身体の健全な成長があると考え、保育にも力を入れている。おもしろい以外にも、じやがいもやトマトの収穫をしたり、ぶどう狩りに出かけたり、1年を通して作物が育つ過程に触れることで、食事できることや、作っていたくことへの感謝の心を育むことができるように取り組んでいる。



「遊ぶの大好き！」一目散に遊具へ向かう子どもたち！

振り返り、今の保育に活かしています」「正直、実習中に嫌になることもあって保育士になることを辞めようと思ったこともありました。でも今は、働いてみたいと分らなかった楽しさをたくさん感じています。これからも子どもたちが毎日楽しく保育園に行きたくなるように関わっていききたい！」と意気込んだ。社会福祉法人潮福祉会は柳沢保育園と別に、ひたちなか市内に金上保育園という姉妹園も運営している。柳沢保育園と同様に温かみのある園舎。さらに広い園庭には太陽の光が降り注ぎ、風と土の匂いに囲まれて子どもたちが走り回っている。自然環境や遊びの中に子どもの成長に関わる無限の可能性があると考える社会福祉法人潮福祉会のいつも明るい先生と子どもたちに会いに行ってみてほしい。



幅広い年齢層なので、豊富な経験と新しいアイデアで楽しい毎日です。みんなで待ってまーす！



柳沢保育園の1日の流れ

11:30 給食

13:00 事務作業

14:00 休憩

16:30 退勤！



8:30 外遊び

7:40 出勤

同期との話でほっこり

家に帰ってからはアニメを見たり…！好きなことをする時間もたっぷり！

**嬉しいときってどんな時？**



子どもたちから「〇〇やりたい！」と声をかけてくれる時。自由に遊べる環境が整っているからこそ、全力で遊び込めるのが自慢です！



柳沢保育園自慢の広い園庭。遊具で遊ぶ子、電車ごっこをする子、花いちもんめをする子。そんな姿をテラスから眺める乳児クラスの子どもたち。それぞれのやりたいを伸ばしている。



家からエプロンを着て出勤。

**社会福祉法人潮福祉会**  
(取材園：柳沢保育園)

**法人情報**  
茨城県ひたちなか市  
金上1235-1  
(法人本部：金上保育園)  
☎029-219-5130  
設立：1980年4月

子どもたちには共に生きる力と自立心を養ってほしいと考え、保育に向き合う。保育士として子どもたちを育む、未来を創る仕事を一緒にしてみませんか。子どもたちと楽しい毎日過ごし、やりたい研修には手をあげて参加することができる研修制度も整っている。

- オンライン 園見学
- オンライン 説明会
- オンライン 相談会